
 今日の力

2016年7月25日～7月31日

翻訳 ゲラ弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

7月25日(月)

あなたは選ばれている

聖書朗読 ルカ 19:1～10

イエスは、彼に言われた。「きょう、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのですから。人の子は、失われた人を探して救うために来たのです。」

ルカ 19:9～10

選ばれるということには多くの意味があります。私は子どもの時、手品の助手に選ばれようとして、手を高くあげました。また、誰かのチームに選ばれようと思いました。選ばれるということは、自分が望まれて好まれているのだと確信させてくれるのです。

しかし、自分が人に好かれていなく、無価値だと思うときには状況が異なってきます。ザアカイはイエス様へ話しかけようとはしませんでした。イエス様に願いを聞いてもらおうとも、自宅の食事に招待しようともしませんでした。イエス様が、ザアカイのような者と一緒に食事をするとは思えなかったからです。

いいえ、ザアカイを選ばれたのはイエス様の方でした。そして、私たちを選ばれたのもイエス様なのです！ 私たちが、自分が選択したことの結果を見る前に、自分を救ってくれる誰かが必要だと悟る前に、イエス様は私たちをご覧になり、私たちに助けが必要だと感じ、救出に来てくださったのです。私たちは神様に愛されているのだろうかと思う前に、神様は「どうしてわたしが地上の子どもたちを見捨てることができようか」とイエス様を送ってくださいました。

聖歌 410

祈り 親愛なる私たちの救い主なる主よ。私たちを見捨てずにいてくださることに感謝します。私たちが困難に負けて罪人となるときにも、あなたの子どもとしてくださることに感謝します。あなたの限りない愛を私たちが大切にし、他人とそれを分け合うことができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

マーク・S・アダムス

テキサス州 コーパスクリステイ

7月26日(火)

ここにはおられません

聖書朗読 ルカ 24:1~8

ここにはおられません。よみがえられたのです。まだガリラヤにおられたころ、お話しになったことを思い出さない。 ルカ 24:6

キリストについて日々考えるとき、キリストは今、お父様と一緒に天国におられると感じます。しかし、マタイ28章20節を見過ぎしてはいけません。イエス様は『見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。』とおっしゃっています。

キリストは私たちを見捨てたわけではありません。私たちと共にここにおられます。

『あなたがたはイエス・キリストを見たことはないけれども愛しており、いま見ているけれども信じており、ことばに尽くすことのできない、栄えに満ちた喜びにおどっています。』(1ペテロ 1:8)。

たぶん私たちはそれとは気づかずに、キリストについて語っているのでしょう。たとえば、誰かのよいご奉仕や忍耐や謙遜について語るときです。キリストは今日も明日もこの世の終わりまで、ここにおられます。

キリストがいつも私たちと共にいると知っている、私たちの行動にも変化が起きます。今日、どこへ行って何をしようとも、あなたは一人ではないことを覚えましょう。

讃美歌 第二編 190

祈り お父様。私たちが誰といっても、どこにいても、注意深くいられますように。そしてあなたが私たちと共にいつもおられますように。
イエス様の御名のもとに。アーメン。

ジョージ・V・モーテンセン
ワシントン州 カークランド

7月27日(水)

恵みによってのみ

聖書朗読 ヨハネ 1:14~18

私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けたのである。 ヨハネ 1:16

マウイへ旅する準備で私は忙しくすごしていました。必要なものは全部そろい、一つの物を残してあとはカバンに詰めるだけとなりました。長い間私は自分の旅にデジタルカメラを持って行きたかったのです。私をびっくりさせようと、姉が誕生日のプレゼントにデジタルカメラをくれました。これに値するような何かを私は姉にしたらどうか。いいえ、姉は私を愛しているから、私が長い間欲しがっていたものをくれたのです。

地上での贈り物のすべてにまさって、私たちは神様から、受けるに値しないほどの贈り物を受けています。それは恵みです。神様は大いなる憐れみから、それを私たちにくださいます。私たちはそれを受けるに値しませんが、信仰によってそれを受けるのです。私たちの人生は神様の恵みによって変化します！ 恵みは私たちを、礼拝へ行って他人と交わり祈るようにと動かします。神様の愛が私たちに強要します。私たちが深い必要から大胆に祈るとき、神様はお聞きになり、私たちに自信を与えてくださいます。神様の恵みが尽きることはありません。

すべてのものに神様を見る心が、恵みと感謝を育てる

———— チャールズ・フィンニー

讃美歌 第二編 108

祈り 天国のお父様。あなたがくださった贈り物からの恵みと憐れみはなんと力強いことでしょう。そのためにあなたが払われた犠牲の大きさは計り知れません。私はキリスト・イエス様に喜びをもって感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

キャサリーン・クナーフ
オレゴン州 セイラム

7月28日(木)

陪審員の評決

聖書朗読 ヨハネ 3:18~31

悪いことをする者は光を憎み、その行いが明るみに出されることを恐れて、光のほうに来ない。
ヨハネ 3:20

最も悪いことは、暗闇の中で起こります。都市の中には、犯罪や暴行を減らすために、警備員が夜間巡回しているところもあります。イエス様は、暗闇の中に生きる罪人を、主の光の中に生きる人に比べました。

私たちの光なるイエス様がこの世に来られた時、混乱がありました。ヨハネも悔い改める人たちにバプテスマを授けていたからです。ヨハネには信奉者たちがいました。しかし、ヨハネはその人たちに、自分はキリストではなく、キリストのために前もって道を用意するために送られた者だと言いました。

ヨハネは、自分を式場で花婿の到着を待っている友人にたとえました。到着した花婿の声を聞いて喜びの声をあげる友人だと。ヨハネは、「その喜びの声の主は私です。今、花婿が到着したからです」と言い、また、キリストについてヨハネは「キリストが偉大になるにつれ、私は小さくなります」と言いました。

最も大切な教えは、イエス様が私たちの光であり、神様がそれを送ってくださったということです。光は天国から来たもののすべてに上回るものです。

讃美歌 267

祈り 親愛なる主よ。あなたを愛します。私たちに暗闇や邪悪から離し、あなたへと導いてくださる光なるイエス様を送ってくださったことに感謝します。他人も、暗闇ではなく光を見ることができるよう、私も努力しつづけます。

イエス様の祝福された御名において。アーメン。

スー・ラザム

カリフォルニア州 アンテロープ

7月29日(金)

娘の真の花婿

聖書朗読 ヨハネ 4:16~26

ところが、夜中になって、『そら、花婿だ。迎えに出よ』と叫ぶ声がした。
マタイ 25:6

イエス様は旅の途中でした。サマリヤを通ったときのことで。井戸端である女に会いました。

イエス様がこの女と交わした会話は、聖書の中に記録されている最も長い会話です。ここで初めて、イエス様は自分の身分をはっきりと語りました。この地域に福音を広めようというイエス様の計画は、この女を通して始められることとなりました。主の目に止まるほどですから、彼女はきっと、偉大で評判の良い女であったにちがひありません。

いいえ、彼女は他人の目を避けるために、暑い日中、村から離れた井戸に水を汲みにきた女でした。彼女は評判の悪い女でした。5回結婚し、現在は結婚していない男と暮らしていました。

イエス様は文化的、民族的、宗教的なバリアーを超えて、この壊れた罪深い女のもとへと来たのです。イエス様はやさしく、しかしはっきりと彼女を希望へと向かわせました。

イエス様は生ける水——永遠のいのちです。その水——メシアが彼女を打ったとき、すべてが変わりました。彼女は多くの離婚を経験しながら、決して真の関係をつかむことができないでいました。しかし、ここで彼女は真の花婿、彼女の救い主に出会ったのです。その途端、彼女は永遠の愛と価値を知りました。そして、他人にもそれを知らせたくてたまらなくなりました！

讃美歌 217

祈り すばらしい神様。私たちに花婿を送ってくださってありがとうございます。生ける水——永遠のいのちをくださることに感謝します。あなたを愛します。

イエス様の御名において。アーメン。

ダナ・メレネス

テキサス州 ビクトリア

7月30日(土)

生のすぐ近くに行く

聖書朗読 ヨハネ 5:19~29

「今は帰ってよい。折を見て、また呼び出そう」 使徒 24:25

あなたは誰か「生き死に」を体験した人、つまり「死の近くに行った人」を知っていますか。その人はきっとそれについて興味深くあなたに語ってくれることでしょう。私はそのことについては余り関わりたいとは思いません。なぜならそれは主観的な経験だからです。しかし、聖書には「生の近くに行った人」のことが書かれています。「罪のために死んでいる人」が永遠のいのちのすぐ近くに来て、それをもうちょっとでつかめそうなのに、生ける死人の世界に引き返してしまう人のことです。

裕福な青年が永遠のいのちを求めてイエス様のもとへ来ました(マタイ19章)。青年は、いのちの水をくれる唯一の人に、正しく問いかけ、正しい回答を得ました。そして、悲嘆にくれながらそのもとを去りました。青年は「生の近くに行った」体験をしたのです。

そして、今日の聖書朗読にでてくる、恐れからパウロを拒んだペリクスを誰が忘れることができるでしょうか！パウロは正義と節制とやがて来る審判とを論じたので、ペリクスは恐れて『今は帰ってよい。また呼び出そう。』と言いました。生の直ぐ近くにいたのに、ペリクスは死に留まることを選びました。

おそらく、聖書の中で最も有名な「生の近くに行った人」の話は、アグリッパ王がパウロに『あなたは、わずかなことばで、私をキリスト者にしようとしている。』と言ったことです。(使徒26:28)。

あなたは「生の近くに行く」体験をした誰かについて知っていますか。その人の人生のために祈りましょう。イエス様は生けるいのちです。さあ今日の日、イエス様の中に喜びをもって生きましょう。

讃美歌 524

祈り お父様。私たちが御許近くに来ては去っていくことをお赦してください。きょう、あなたの恵みと真実について語る機会を私たちに与えてください。

イエス様の御名において。アーメン。

パット・アンドリュース
テキサス州 アビリン

7月31日(日)

渴いている人は誰でも

聖書朗読 ヨハネ 7:37~44

御霊に満たされなさい。 エペソ 5:18

他の川が、ほんの小さな流れが集まってできるのに対し、ナイル川はビクトリア湖から勢いよく流れ出す大水によって始まります。ナイル川河畔の土地は豊かな水から限らない恩恵を受けています。ツーリストたちは、いかだに乗ってスリルを楽しみながら、鳥や動物をながめ、ナイルの生ける水によって栄えている自然に感嘆します。

祖先が砂漠を旅して約束された土地へ向かっている時に、神様が護ってくださったことを感謝するため神殿に集まった群衆に、イエス様は、水といのちの間の切ることのできない関係を説かれました。砂漠での岩からの水。それはいのちです。

イエス様は群衆をいのちの水に招かれました。今日では私たちをその水に招かれています。いのちの水は神様の聖霊であるイエス様から流れ出ます。その流れは死ぬことのない命を与えてくれます。そして私たちを満たした水は川となって私たちの体からあふれ出し、他人を癒すのです。

『天の父が、求める人たちに、どうして聖霊を下さらないことがありますか。』とイエス様が言われています。(ルカ11:13)。

群衆はその日神殿で、イエス様に同意することができませんでした。群衆はイエス様が本物かどうか迷ったのです。それについてはまだ議論が続いています。しかし、もしあなたが渴いているのなら、どうすればよいか分かっているはずですよ。

讃美歌 181

祈り 親愛なる主よ。あなたの霊なるいのちの水が私の内で泉となって私の心の渴きをいやしますように。その泉が私の体内から外へあふれ出し、あなたの恵みと善を周りの人に届けますように。感謝します！

イエス様の御名において。アーメン。

イアン・K・シェルバーン
テキサス州 アビリン